

2020年度の事業の概況について

2020年度(令和2年度)は、第5次中期経営計画(2018年度～2020年度)の最終年度として、「うれしいこと、ご一緒に。」を合言葉に、「地域とともに未来へ歩み続ける“もりしん”」を目指して、「地域やお客さまの課題解決に向けた価値ある提案による「非価格競争力」の強化や円滑な資金供給を通じた貸出金利の適正なプライシングを実現させるとともに、経営の効率化を進め、収益性の向上を図りつつ、協同組織金融機関としての持続可能なビジネスモデルを構築していく。」という基本方針のもと、次の3つの重要課題を掲げて取り組んでまいりました。

- ①お取引先や地域の豊かな未来の創造に向けて、「もりしん」ビジネスモデルの取り組みを徹底して実践し、
強固な経営基盤を築く。
- ②収益性、生産性・効率性の向上を図り健全な財務を確保するとともに、法令等を厳格に遵守した適切な業務運営に努める。
- ③地域やお客さまの課題に向き合い、新たな価値創造に挑戦する地域のリーダーとなり得る人財を育成するとともに、
働き方改革に向けた取り組みを実践していく。

また、信用金庫の原点を踏まえ、地域やお客さまとのコミュニケーションの深掘りを“^(しんか)深化×進化”させ、地域に根差した様々な金融支援をはじめお客さま本位の業務運営に徹して、当金庫の独自性・特性を最大限に発揮しながら、強固な経営基盤を築いていくことに努めてまいりました。

具体的には、貸出関連では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けられているお取引先の業況等について継続的にきめ細かく実態を把握するほか、「資金繰り対応窓口」や「資金繰り相談専用ダイヤル」の設置、生活資金支援ローンの取扱開始など、お客さまの資金繰り支援に注力してまいりました。また、お取引先の本業支援などのコンサルティング機能の向上という観点からは、事業拡大や新分野への進出、経営の効率化等を目指すお取引先に対して大手企業の紹介や情報提供を行う「ビジネスマッチング業務」、複数の外部専門機関との連携により事業承継・M&A支援を行う「しんきん事業承継コンソーシアム」、税理士法人との連携による相続・資産承継相談業務などの取扱いも開始いたしました。

預金関連では、期間限定キャンペーンで懸賞付定期預金「杜の都でっかい夢定期」や東北各地の産品を特典とした「ふるさと宅配便2020」(定期預金・定期積金)を取り扱いました。

地域社会貢献としては、文化芸術振興の分野で「県民ロビーコンサート」ネーミングライツや「リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展」などの様々な協賛事業にも積極的に参画させていただきましたほか、宮城県内5信用金庫が宮城県の地域経済の持続的発展に向けて連携して取り組んでいく「SDGs共同宣言」を公表いたしました。

『杜の都しんきん』第6次中期経営計画

当金庫は、2021年度から3年間の「第6次中期経営計画」(2021～2023年度)を新たに策定し、「地域社会発展のために設立された地元の信用金庫」という原点のもと、「もっとも相談しやすい地元のしんきん」として、地域やお客さまが抱える課題解決に尽力することで信頼関係をより強固なものとし、地域やお客さまの持続的発展に貢献していくことを目指してまいります。

2021年度は、「第6次中期経営計画」の初年度として、地域に貢献し、地域とともに歩み続ける“もりしん”を目指して、「もりしん」ビジネスモデルを徹底し、地域やお客さまとのコミュニケーションを一層深化させ、お客さま本位の良質な金融商品・サービスをタイムリーに提供するなど、地域やお客さまの持続的発展に貢献できるよう、事業を推進してまいります。



目指すべき姿

“うれしいこと、一緒に。”
～地域とともに発展し続ける“もりしん”を目指して～

「地域社会発展のために設立された地元の信用金庫」であるという原点のもと、「もっとも相談しやすい地元のしんきん」として、地域やお客さまが抱える課題解決に尽力することで信頼関係をより強固なものとし、地域やお客さまの持続的発展に貢献していく。

基本方針

地域やお客さまとの深度あるコミュニケーションにより把握した実態を踏まえ、課題解決に向けた価値ある提案を考え実行する「コンサルティング対応」の強化と、これを通じた円滑な資金供給や貸出金利の適正なプライシングを実現するとともに一層の経営効率化を進め、収益性の向上を図りつつ、「もっとも相談しやすい地元のしんきん」としての持続可能なビジネスモデルを確立していく。

3つの重要戦略

地域やお客さまの持続可能性の向上に向けて、未来を見据えつつ独自性・特性を最大限に発揮した取組みを“推考×遂行”し、価値ある課題解決策の提案と円滑な資金供給を通じ、地域になくてはならない金融機関として、より一層“もりしん”の存在感を高めていく。

地域やお客さま本位の経営を持続可能とするための強固な経営基盤の構築に向けて、収益性、生産性・効率性、健全性等の向上に資する取組みを“推考×遂行”し、安心できる金融機関として、より一層“もりしん”の信頼度を高めていく。

地域やお客さま本位の活動を職員一人ひとりが持続可能とするための組織づくりに向けて、時代の変化に対応し地域やお客さまの課題解決に貢献できる人財の育成や働き方改革等の取組みを“推考×遂行”し、選ばれる金融機関として、より一層“もりしん”の好感度を高めていく。

2021年度事業計画 重要課題

お取引先や地域の持続可能かつ豊かな未来の創造に向けて、「もりしん」ビジネスモデルを徹底して実践し、リレーションシップの強化を図る。

お客さまや地域とのコミュニケーションを追求することにより、お客さまや地域が抱える様々な課題の把握と解決に迅速に取り組み、地域になくてはならない金融機関としての存在感を更に高めていく。

- 徹底した顧客訪問によりお客さまや地域が抱えるニーズや課題を迅速かつ的確に把握し、外部機関との連携を図りつつ、本部営業部店が一体となってその解決に取り組むなど、当金庫の独自性・特性を最大限に発揮していく。 **（「もりしん」ビジネスモデルの確立）**
- コロナ禍の影響など、お客さま毎の課題等に応じて円滑な資金供給や事業承継・販路拡大支援等の付加価値の高い提案を提供するなど、お客さまにとって最適な本業支援や経営改善支援等に取り組み、地元企業の持続可能性の向上に貢献していく。 **（お客さま本位の金融仲介機能発揮）**
- ライフスタイルや多様化するニーズに応じた良質な金融商品・サービスを提供し、高齢者層や次世代層を含む幅広いライフステージにおけるお客さまの豊かな生活の持続可能性の向上に取り組む。 **（確固たる顧客基盤の構築）**

収益性、生産性・効率性の向上を図り、健全な財務体質を確保するとともに、法令等を厳格に遵守した適切な業務運営に努める。

経営の透明性・健全性の確保ならびに内部管理態勢の強化を図り、持続可能な安心できる金融機関として、信頼度を更に高めていく。

- 価値ある課題解決策の提案や円滑な資金供給を通じて貸出金利の適正なプライシングを実現するほか、効率的な組織運営や生産性の向上に資する取組みを推進し、安定した収益と将来にわたる健全性の確保に努める。
- お客さまの利益保護と利便性向上のために顧客保護管理態勢の強化を図るとともに、法令や業務上の諸規則、社会的規範等を厳格に順守し、健全かつ適切な業務運営に徹する。
- マネー・ローダリングやテロ資金供与等の犯罪収益拡大の未然防止に向けて内部管理態勢の強化を図るとともに、取引時確認等の対応を徹底する。

一人ひとりが時代の変化に対応し、お客さまや地域の幸せづくりと持続的発展に貢献できる人財となるよう育成するとともに、働き方改革に向けた取組みを実践していく。

お客さまや地域の様々なニーズや課題にスピーディに応えられる多様な人財を育成するため、研修体制や人事諸制度の充実に取り組み、役職員一人一人の好感度を更に高めていく。

- 全役職員一人ひとりが率先して自己啓発と自己研鑽に励み、「気付き」と「創意工夫」をもって、日々の業務と新たな挑戦に取り組む。
- お客さまや地域の課題解決に必要な知識やノウハウ等を習得するための研修制度の充実を図り、コンサルティング力や連携先とのコーディネート力を有する「信用金庫人」を育成する。
- 女性活躍推進やワーク・ライフ・バランスなど「働き方改革」のさらなる深耕を図り、能力を発揮し働き続けられる職場環境づくりに取り組む。